



# そよ風

- 1 2013 年 年頭のあいさつ
- 2～3 東大和療育センターフェスティバル
- 4 草笛コンサート・  
「サンクタス立川ギャラリー」作品展
- 5 研修生の報告・平成 24 年度自衛消防審査会
- 6～7 第 1 回テーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会
- 8～9 クリスマス会
- 10 院内研修

## ■ ■ 2013 年 年頭のあいさつ ■ ■

院長 倉田 清子

新年あけましておめでとうございます。利用者とその家族の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、年末年始にもかかわらず、業務に就かれていた職員の方々にもお礼申し上げます。

さて、この数年、福祉、医療分野では制度の改変が矢継ぎ早に行われ、現場ではその対応に追われる日々が続いております。昨年の 4 月にはいわゆるつなぎ法が施行され、当センターは、従来の重症心身障害児施設から児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設、また、障害者自立支援法に基づく療養介護、短期入所、生活介護を行う施設として都から指定され、再出発の年となりました。このたびの法改正では、今まで国庫補助事業の重症心身障害児(者)通園事業が法定化され、安定した事業運営が確保されたこと、全国重症心身障害児(者)を守る会、日本重症児福祉協会が国に働きかけてきた児者一貫の支援体制が継続されたことが何よりの成果ではなかったかと考えています。

今後は、今年 4 月に障害者自立支援法に代わる障害者福祉支援法が施行されることとなっており、私どもとしてはこの動向も注意深く見守っていく必要があります。

昨年は、当センターが開設して 20 年という記念すべき年でしたが、数年前のようなインフルエンザの流行もなく、一年を通して利用者の方々に円滑な療育サービスを提供し、夏祭りや東大和フェスティバルなどの行事も成功裡に終わるなど良い年だったと思っています。

2013 年は、当センターにとって、次の 10 年、20 年に向かう節目の年になります。職員の間は、守る会の基本理念である「最も弱いものをひとりももれなく守る」という考えをもう一度心の奥深くで確認し、利用者にとって安心安全で質の高い療育の実現を目指して、ともに歩んでいきましょう。

## 東大和療育センターフェスティバル

### 東大和フェスタ

実行委員長 影澤 勝

晴天の秋空のもと、10月13日(土)第3回東大和療育センターフェスティバルが開催されました。

今年も、各セクションが創意工夫されたさまざまな出し物がお出迎えました。屋外では、たくさんの動物達がみなさんが来るのを迎えて、プレイルームでは、もはやイベントの恒例となりつつある多摩っ子バブルスの歌とダンスのパフォーマンス、スティールパンのきれいな音色に観客はうっとり聞き入っていました。サクスのサキソフォンカーズも楽しいステージをみせてくれました。また、エントランスホールではセンターの合唱部の歌も披露され、みなさんも一緒に口ずさんでいました。

今回は、はるばるトルコからおいしん坊のお魚さんが特別参加し、みんなの手や足の角質をパクパク、とても不思議な感覚を楽しみました。それだけではなく、マッサージやネイルアートも体験され、きれいになった方もたくさんいました。ほかに、おばけやしき、記念撮影などもあり、それぞれに東大和フェスティバルの思い出を残されたのではないのでしょうか。

最後になりましたが、フェスティバルにご協力いただきましたボランティア、ご家族、スタッフの皆様に感謝いたします。



### 東大和フェスタを終えて

第1病棟保育士 村上 英雄

今年で3回目を迎えたフェスタ、これまで第1病棟では「皆が楽しめる五感を刺激するアトラクション」を提供しようと考えてきました。1回目はお化け屋敷、2回目は映像を使ったものときたので、今回はと悩みましたがあるテレビ番組を見ている時に「謎解き・冒険・シューティング」のキーワードが浮かび「今年はこちらでいこう!」と決めました。内容は皆さんの視覚・嗅覚・聴覚・触覚を活かして各部屋の謎を解き、第1病棟のキャラクターであるいっとくん・いっこちゃんとお宝を手に入れるというものです。

準備では予想以上に時間がかかり「間に合うかな」と一瞬不安な気持ちよぎりましたが、スタッフの協力のもと何とか本番に間に合うことができました。参加された方からも「楽しかったよ!」「午後もまた来てほしい?」など声をかけてもらえ、頑張った良かったと思えました。良い思い出が一つできました。



謎解きの一つ「海の間」



ボスを倒して最後に  
手に入れたのは...

## 東大和フェスタ

第 4 病棟指導員 黒田 誠



とても心地良い陽気の中、第 3 回東大和フェスタが開催されました。今回の第 4 病棟は、昨年までの実験室や遊びをイメージした企画から一転して“癒し”をイメージした空間を企画しました。癒しや美容のプロ、プロを目指す学生さんたちに協力して頂き「サロン ドゥ やまと」という名前で 2 店舗オープンしました。オープン直後から大盛況!とはいきませんでした。マッサージやネイルアートをしている様子を目にした方たちが、「私も、私も。」という感じでどんどん来店してきてくれました。結果的には利用者の方、そのご家族の方、皆さんに大満足して頂けました。

印象的だった場面があります。ネイルアートをやってくれていた学生さんが、たくさんのマニキュアを一本一本手に取り、「この色はお空の様な色ですね。この色はバナナの様な色。」などと言いながら利用者さんに丁寧に説明していました。私も心が癒されたシーンでした。

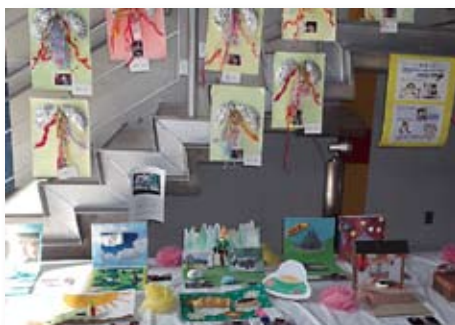
## 制作展 2012 リハビリテーション科作業療法士 水野 充美

昨年 10 月から 1 ヶ月の間、1 階エントランスと廊下にセンター利用者の方々と制作した作品をたくさん展示しました。

今回も数多くの方々からアンケートを通じてコメントを頂きました。その一部ですがご紹介したいと思います。

### 外来部門

保護者の方から  
『どの作品も夢があっ  
てみていて楽しくな  
りました。』



### 通所部門

保護者の方から  
『すごいがんばりの  
作品でおどろきまし  
た。』

### 入所部門

保護者の方から  
『利用者さんの力作を  
みました。うれしそう  
な顔の作業風景の写  
真うれしく見ました。』



### 職員から

『毎回楽しみにして  
います。食べ物がお  
いしそうでした。こ  
れからもがんばって  
ください。』

沢山のご感想どうもありがとうございました。

## 草笛コンサート

在宅支援室医療ソーシャルワーカー 伊藤 駿平

10月18日(木)14時20分から50分まで草笛コンサートをエントランスホールで行いました。在宅支援室主催の記念すべきコンサートです。立川草笛の会の皆様は岡田室長とお知り合いで、今回演奏していただくこととなりました。

草笛というのは葉を口に当て、そこから漏れる際に発生する振動で音を出します。また、草の茎や葉を巻いたりしてリコーダーの様に吹く笛もあり、どんな方にでも楽しんでいただける身近な楽器です。

演奏は、「大きな古時計」や「赤い靴」「四季の歌」など有名な曲です。利用者さんたちは、歌に合わせて体を動かしている方や、口ずさんでいる方もおり、楽しんでいる様子でした。

歌を聴いた後には皆で草笛を吹いて、「幸せなら笛吹こう」を演奏しました。頑張って草笛を吹いている人もおり、一緒に歌うことの楽しさを会場に集まった皆で共有しました。

最後になりましたが、立川草笛の会の皆さん、会場設営をしていただいたQOL向上プロジェクトチームの方々に深くお礼申し上げます。



## 「サンクタス立川ギャラリー」作品展

第1病棟保育士 豊川 尚平

10月1日(月)から10月31日(水)まで立川市にあるサンクタス立川ギャラリーにおいて、利用者さんの作品による作品展を行いました。

展示したのは、各病棟及び通所の利用者さんが日々描いている絵や、活動の中で制作した作品です。その日出勤してきた職員に、「今日も仕事頑張ってるね。」と声をかけて渡す手紙であったり、その日の出来事を書いた日記であったり、どの作品も利用者さんの思いが込められており、またどの作品も構成が大胆で色使いが鮮やかです。こんな素敵な作品をより多くの人に見ていただきたいと思い作品展を企画しました。



作品展は利用者さん達も活動として実際に見に行き、出品した利用者さんから笑顔が見られました。利用者さんのご家族にも「ありがとう。」と喜んでいただけました。「いろんな人に絵を見てもらえる。」という喜びとともに、新たな創作意欲が湧ききっかけになれば嬉しいです。

## 研修生の報告

医局 平山 恒憲

2012 年 9 月 18 日(火)から 3 週間の予定で当センターにタイ王国からワラワン先生が研修に来られました。先生は 1997 年にマヒドル大学医学部を卒業され、各種研修の後、同大学病院小児科医として勤務されました。2009 年からはバンコクにあるクィーンシリキット小児病院の小児科医として、主として発達障害の診療に従事されています。



今回、主にアジアの国々の医師や研究者が日本への留学を支援している武田科学振興財団の留学助成制度で、日本医科大学小児科学教室に 3 か月間の予定で日本にいらっしゃいました。先生のご希望から、我が国の障害児の療育についての見聞を広げたいとのことで実現しました。

先生のお人柄は、とても穏やかで、それでいて貪欲に各セクションや外来見学をこなしておられました。日本語は片言しかできないので、我々は英語でコミュニケーションをとりましたが、お互いになかなか発音がわかりにくい事もあり難渋することもしばしばありました。しかし、タイ国では医学部の教科書は全て英語だということもあって、初めての海外留学とは思えないほど堂々としておられました。このように障害児(者)に対する当センターの診療や療育が、今後、タイ国での先生の活躍に少しでも携われたらと医局員一同思っています。

なお、残念なことに 3 週目の研修時に急遽タイに帰国する事情があって、2 週間で研修終了となってしまいましたが、残りの期間を島田療育センターなど他の施設でも研修するそうです。

## 平成 24 年度自衛消防審査会



平成 24 年 10 月 12 日(金)、東京経済大学村山校舎で平成 24 年度自衛消防審査会が行われました。北多摩西部消防署管内の事業所 32 隊が出場し、当センターからは 1 隊 3 名の職員が参加しました。

訓練日も少ない中で一生懸命取り組みました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、日常では使用する機会の少ない消火栓・消火器・通報装置などの消防設備を実際に体験する良い機会になったと思います。参加した職員の方々、お疲れ様でした。

## ■ ■ 第 1 回テーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会 ■ ■

開催日:平成 24 年 11 月 21 日(水)

テーマ別改善運動は都立病院を中心とした施設での職員の自主的活動で、職員の意識改革や職場の活性化を促すことにより、患者さんが快く治療に専念でき、安心して納得できる医療が受けられる環境を実現することを目的に行われています。今年度、福祉保健局からこの改善運動に参加することの決定を受けてセンターとして取り組むこととし、第 1 回のテーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会が、11 月 21 日(水)に研修室で開催されました。

センターとして初めての改善運動への参加ですが、大変短い準備期間にもかかわらず 11 サークルの積極的な取り組みにより、利用者サービスの向上や経営改善などの分野において改善実績や今後にも大きな効果が期待できる発表が行われました。

最優秀賞、優秀賞の表彰は以下の 3 テーマが選ばれました。いずれのテーマも、サービスの向上や経営改善に向けたきめ細かな工夫が凝らされ、実現効果が高いことなどが評価されました。なお、最優秀賞は、都庁で 1 月 31 日(木)に行われる平成 24 年度テーマ別改善運動合同発表会にセンター代表として参加いたします。



### 最優秀賞

「利用者の身だしなみをきちんと整える」 身だしなみ整え隊 第 1 病棟 佐藤紀子 他

### 優秀賞

「病棟で使いやすいワゴンの作成」 YAMATO: ワゴン R 第 1 病棟 長谷川雅也 他

「利用者の満足度と利用率の向上を同時に実現するために」

在宅支援 命!在宅支援室 三村さやか 他

### その他の演題

「外出の定着」 外へ出よう!推奨委員会 第 2 病棟 加藤美穂 他

「大規模災害に対応する医薬品備蓄リスト作成」

チーム AKB 薬剤検査科 飯塚憲太 他

「モーニングケアを考える」

モーニングケア娘 第 3 病棟 古菅美納 他

「大震災発生時における夜勤帯職員の行動マニュアル作成」

アースクエックサークル 第 2 病棟 小川初恵 他

「軟膏の残量確認と保管方法について」

軟膏は難航だ 第 4 病棟 吉田友美子 他

「限られたスペースを整理整頓し有効活用しよう」

断捨離 第 4 病棟 江崎大介 他

「『排泄の確認』に関する取り組み」

排泄確認小声でし隊 第 3 病棟 大和田美保 他

「薬剤耐性菌を保菌した利用者の対応マニュアルの作成」

チームアシネトの栄光 医局 江添隆範 他



第 1 病棟 指導員  
佐藤 紀子

センターで今年初めての取り組みとなった QC サークル活動の院内発表会において、私達『身だしなみ整え隊』が最優秀賞を頂きました。サークル名の通り“利用者の方々の身だしなみを整えたい”との思いでスタートしました。この取り組みにより、課題とした身だしなみがより整えられ改善が図られました。それだけでなく得られたこともあります。利用者の方から直接に伝えてもらうことで気づけることも多いのですが、不快感を訴えることが



難しい方々なので、私たちのケアをどう感じているのかという点を、より深く思いを巡らせていかねばならないと感じました。これは整容ケアだけでなく、全てのケアにおいて求められており、そのためには私たちが日々何気なく行っているケアの一つひとつを振り返ることの重要性にも気づくことができました。そして、この発表をきっかけに一人でも多くの方に伝わることで、より利用者サービスの改善に繋がるのではないかと期待しています。

# H a l l o w e e n



## クリスマス会

### 通所クリスマス会とバイキング

通所指導員 水野 豪

今回は午前と午後の 2 部構成、その間にはクリスマス仕様のランチバイキングも催されました。

第 1 部は、「通所クリスマスコレクション」でスタート！利用者さんは、煌びやかな蝶ネクタイやコサージュを身に付けて、スポットを浴びながら進みます。皆様に向けて拍手や声援が飛び交いました。続いては、職員ミュージカル「ヘンデルとグレーテル」。コミカルな兄妹のやりとりや、森の精や動物達のダンスに会場は大盛り上がり。

そして、お待ちかねのバイキングは、とにかく種類豊富で全部選ぶとトレイからはみ出してしまう程のボリューム！お腹いっぱいになった後は、ゲストの Junco さんによるピアノの弾き語り。利用者の M さんが作詞した曲も披露して下さい、とても感動的でした。

最後は、皆様の笑顔がいっぱいのスライドショーで、とても 400 字では書き切れない程内容の濃いクリスマス会は幕を閉じました。



### クリスマス会

第 2 病棟指導員 廣川 太一朗

去る 12 月 12 日(水)は、第 2 病棟のクリスマス会でした。今回のテーマは「みんなが主役!! 手をつなごう、みんなの輪」と題し利用者さん、ご家族、職員と一緒に楽しい時間を過ごせるようにスタッフ全員で準備をしました。みんなで知恵を出し合って、利用者さん一人ひとりにスポットが当たるように出し物や映像に工夫を凝らしました。



オープニングを飾ったのは、【アクションクラブ】の車椅子ダンス。スクリーンに映し出される映像から、チームワークの良さが伝わり、賑やかに始まりました。続いて、【アートクラブ】。みんなの気持ち一つになったトーンチャイムの合奏でした。練習の成果が出ていましたよ。最後は、【感覚クラブ】。大きなかぶの話をもモチーフにした劇でした。みんなの力がひとつになった時、たくさんの風船が舞い上がりました。どの出し物も利用者さんの笑顔はキラキラで、笑いあり、感動して胸が熱くなる場面あり、あたたかく優しい雰囲気にも包まれた会でした。



会が終わって、多くのご家族より「とっても素敵な会でした。ありがとうございます。」と声をかけて頂きました。その言葉が嬉しかった。新しい年も、「利用者さんの笑顔のために... 喜んでもらおうよ!!」の精神で、病棟のみんなと一緒に一日一日を大切に積み重ねていきたいと思います。



## 20 回目のクリスマス会

第 3 病棟指導員 中川 美佳



12 月 14 日(金)は第 3 病棟のクリスマス会でした。芸達者な職員たちによる歌やダンス、流行語大賞をとったあの人も!! わくわくドキドキの楽しい出し物が盛りだくさんです。

続いて、サキソホンカーズによるサクスの生演奏♪皆さんで楽器を持って、クリスマスソングと一緒に演奏し、クリスマス気分を満喫しました。



そして、最後はスライドショーです。利用者さんやご家族・職員の懐かしい写真と今年の写真を大きなスクリーンに映し、皆さんに観て頂きました。そうです! 今年センターが開設して 20 周年。昔の写真はみんな今より少し若くてビックリしたり、今と変わらないと驚いたり、懐かしい映像にしばしタイムスリップです。自分の写真が出てくるとスクリーンを指差したり、ご家族が昔の話をしてくださったりする姿が印象的でした。

3 病棟のクリスマス会は本当に賑やかでした。また皆さんの素敵な笑顔に会えますように・・・2013 年も元気に過ごしたいですね。

### 栄養科 クリスマス会



わたし達が腕によりをかけてつくりました



クリスマスといえば... やっばり チキン!!

かわいくて 食べちゃうのが嬉しいわい♡



おいしいケーキでウキウキ気分♪

## 10・11・12月の院内研修

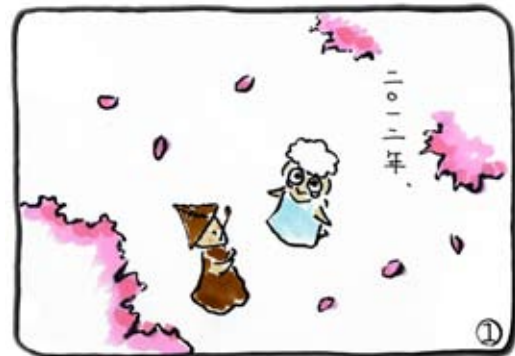
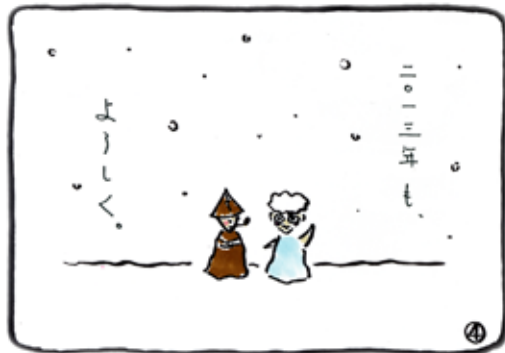
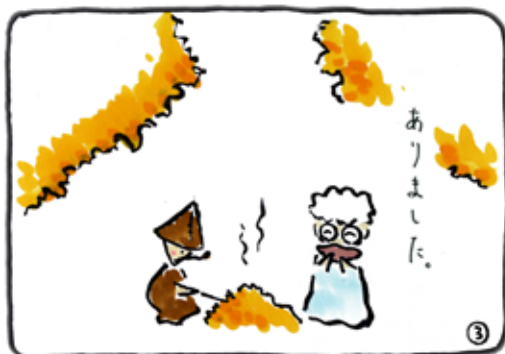
基礎コースⅠ	○呼吸ケア
基礎コースⅡ	○安全管理 ○看護(療育)記録(第1回)
基礎コースⅢ	○摂食・嚥下障害ケア ○呼吸ケア ○看護(療育)記録(第1回)
一般コース	○療育研究(第4回)(第5回)
専門コース	○摂食・嚥下障害ケア(第3回) ○呼吸ケア(第3回)(第4回)

## 1・2・3月の院内研修予定

基礎コースⅠ	○1年目のまとめ課題
基礎コースⅡ	○2年目のまとめ課題
基礎コースⅢ	○3年目のまとめ課題
一般コース	○プリセプター研修(第2回) ○リーダー研修(第2回) ○療育研修(第6回)
専門コース	○摂食・嚥下障害ケア(第4回)

### 東京都重症心身障害プロフェッショナル育成研修

3月修了(2年コース)



#### 編集後記

あけましておめでとうございます。年末から年始にかけて大きなイベントが盛りだくさんありますが、つつい食べ過ぎ飲みすぎてしまわないよう気をつけたいと思います。まだまだ寒い日が続きますが今年もよろしくお願い致します。(A.I)

あけましておめでとうございます。新しい年を迎える中で、センター内でも華やかなお正月の飾り付けが見られ、どこか浮き浮きと嬉しそうな雰囲気全体に感じられます。

昨年も行事や日常の療育など通じて、利用者の皆さんと職員共々楽しい時間を過ごしてきましたが、今年は一層のパワーアップを目指しましょう!!(Y.A)

#### そよ風第 71 号

編集 院内報そよ風編集委員会  
 発行日 平成 25 年 1 月 15 日  
 発行 東京都立東大和療育センター  
 東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10  
 ☎ 042-567-0222  
 印刷 有限会社 はじめ印刷  
 ☎ 042-560-3031